

小型船舶用泊地等使用許可(変更)申請書

年 月 日

広島県東部建設事務所長 様

申請者 住所
氏名〔法人にあつては事務所の所在地,
名称及び代表者の氏名〕

連絡先電話番号 — —

次のとおり小型船舶用泊地等を使用したいので、許可してください。

1 使用する小型船舶用泊地等

2 係留等を行う船舶等

(1) 船舶

(船舶番号 広島・船舶の長さ m)

(2) 係留の用に供する工作物 (該当するものに○印)

ア 係船環

イ ロープ

ウ 防舷材

エ 通船 (長さ . m)

オ 栈橋 (長さ . m)

カ 渡橋 (長さ . m)

キ 梯子

ク その他 ()

3 使用期間

令和 年 月 日から令和 5年 3月31日まで

備考 1 小型船舶用泊地等とは、プレジャーボートの係留を許可することができるものと認めて知事が別に指定した水域及び当該水域へのプレジャーボートの係留の用に供する工作物を設置することとなる当該水域に接する岸壁、物揚場、防波堤その他の港湾施設及び漁港施設をいう。

2 「1 使用する小型船舶用泊地等」については、「地方港湾〇〇港〇〇地区(〇〇市〇〇町地先)のうち、申請書添付書類中の位置図及び見取り図で示された小型船舶用泊地等の区域」の例により記載するものとする。

3 「2 係留等を行う船舶等」の記載事項のうち、「(1) 船舶」については「モーターボート(船舶番号〇〇〇-〇〇〇〇〇〇広島・船舶の長さ〇〇. 〇〇m)」の例により、「(2) 係留の用に供する工作物」については「ア 係船環、イ ロープ、ウ 防舷材、エ 栈橋(長さ〇〇. 〇〇m)、オ 渡橋(長さ〇〇. 〇〇m)、カ はしご」の例により記載するものとする。

○申請期間は
令和4年2月1日(火)～2月28日(月)

○提出部数は 小型船舶用泊地等使用許可(変更)申請書(記載例)
2部(うち1部はコピーで可)

令和4年 ○月 ○日

広島県東部建設事務所長 様

※押印は不要です。

申請者 住所 尾道市因島口町 ○○番地
氏名 因島 太郎
〔法人にあっては事務所の所在地、
名称及び代表者の氏名〕
連絡先 0845-12-3456

※連絡が可能な電話番号

次のとおり小型船舶用泊地等を使用したいので、許可してください。

- 1 使用する小型船舶用泊地等
地方港湾 ○○○港 △△△地区

※ 港湾名、地区名は、資料3
「地区別実施計画」に記載があります。

- 2 係留等を行う船舶等

- (1) 船舶

モーターボート(船舶番号 273-123456 広島・船舶の長さ 5.678m)

- (2) 係留の用に供する工作物(該当するものに○印)

ア 係船環

イ ロープ

ウ 防舷材

エ 通船(長さ 2.10m)

オ 栈橋(長さ . m)

カ 渡橋(長さ . m)

キ 梯子

ク その他()

- 3 使用期間

令和4年 月 日から令和5年 3月 31日まで

備考 1 小型船舶用泊地等とは、プレジャーボートの係留を許可することができるものと認めて知事が別に指定した水域及び当該水域へのプレジャーボートの係留の用に供する工作物を設置することとなる当該水域に接する岸壁、物揚場、防波堤その他の港湾施設及び漁港施設をいう。

2 「1 使用する小型船舶用泊地等」については、「地方港湾○○港○○地区(○○市○○町地先)のうち、申請書添付書類中の位置図及び見取り図で示された小型船舶用泊地等の区域」の例により記載するものとする。

3 「2 係留等を行う船舶等」の記載事項のうち、「(1) 船舶」については「モーターボート(船舶番号○○○-○○○○○広島・船舶の長さ○○.○○m)」の例により、「(2) 係留の用に供する工作物」については「ア 係船環、イ ロープ、ウ 防舷材、エ 栈橋(長さ○○.○○m)、オ 渡橋(長さ○○.○○m)、カ はしご」の例により記載するものとする。

必要添付書類一覧表

必要添付書類		摘 要
1	船舶検査証の写し	<ul style="list-style-type: none"> 申請書に記載の船舶の長さは、これによる。
2	位置図（資料8）	<ul style="list-style-type: none"> 位置図に係留位置を記載する。防波堤、護岸等の恒久的地物からの距離も示し、係留位置を特定する。
3	見取り図（資料10）	<ul style="list-style-type: none"> 資料11 見取り図（記載例）を参考に、係留状態が分かるように、係留船舶の他、ロープ、係船環、防舷材、棧橋、渡橋、はしご等の係留に使用する工作物について、適当な縮尺で作図する。 船舶、棧橋及び渡橋の長さ及び幅も記載する。
4	写真	<ul style="list-style-type: none"> 小型船舶用泊地等を使用することとなる船舶及び係留の用に供する工作物の全てを写したものを。 ※資料14 写真（撮影例）のとおり、係船環の写真も必要
5	誓約書（資料12）	<ul style="list-style-type: none"> 申請者が暴力団排除条例第2条第3号に規定する暴力団員等に該当しないこと、今後も暴力団等に該当することはないこと等について誓約する。 ※個人用と法人用の区別があります。法人申請の場合には、様式に注意してください。
6	構成員内訳書	<ul style="list-style-type: none"> プレジャーボート組合等の代表者が申請する場合に限る。 構成員の氏名及び住所並びに所有船舶を明示する（様式任意）。
7	その他必要と認める書類	<ul style="list-style-type: none"> 1～6の添付書類以外に必要と認められるものについて、添付を求める。

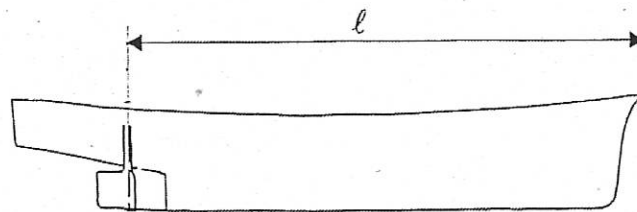
※ 添付書類も2部提出してください。

船舶の全長	船灯や汽笛など海上衝突予防法に関する航海用具の設備基準の基礎となるもので、船体の長さのことです。登録に用いられる「船舶の長さ」とは異なります。
船舶の長さ	小型船舶の登録上の長さで、検査手数料の算定や技術基準の基礎となるものです。全長とは異なり、下図により算定されます。なお、都道府県による船籍票の交付を受けた船舶（総トン数5トン以上20トン未満の船舶）、漁船登録を受けた小型漁船及び船舶検査証書を受有する船舶については、当該船籍票、漁船登録票又は船舶検査証書にこの長さが記載されています。

【 船 舶 の 長 さ 】

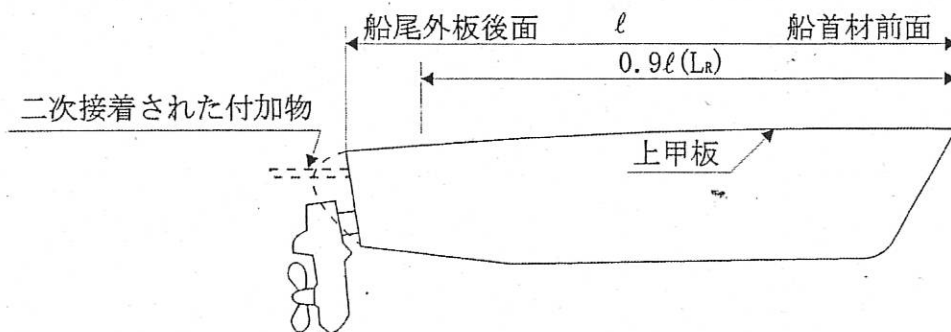
1 舵の有る船

l = 船の長さ




2 舵の無い船（船外機等）

l (船の長さ) $\times 0.9 =$ 船舶の長さ



船舶検査証書

船 種 及 び 船 名		船舶番号、船舶検査番号又は船舶登録番号	船籍港又は検査港
総トン数又は船舶の長さ		種 類	船 前 所 属 者
航行区域又は従業制限 <small>(国旅航路に依りて航行する船舶にあつては、この欄に記す)</small>	乗 客		6 人
	船 員		1 人
	その他の乗客者		0 人
	合 計		7 人
制 限 条 件			
その他の航行上の条件			
有 効 期 間		まで	
船舶安全法第9条第1項の規定により交付する。 (第1項)			
日本小型船舶検査機構 			

位置図

資料8

図郭番号	調査区域区分	港湾名	河川名	地区名	調査年月日	縮尺	プロット番号	通し番号
13	港湾単独	土生港	—	宇和部地区	平成30年8月1日	1/1,210	222	4/5 5/5



位置図

資料 8

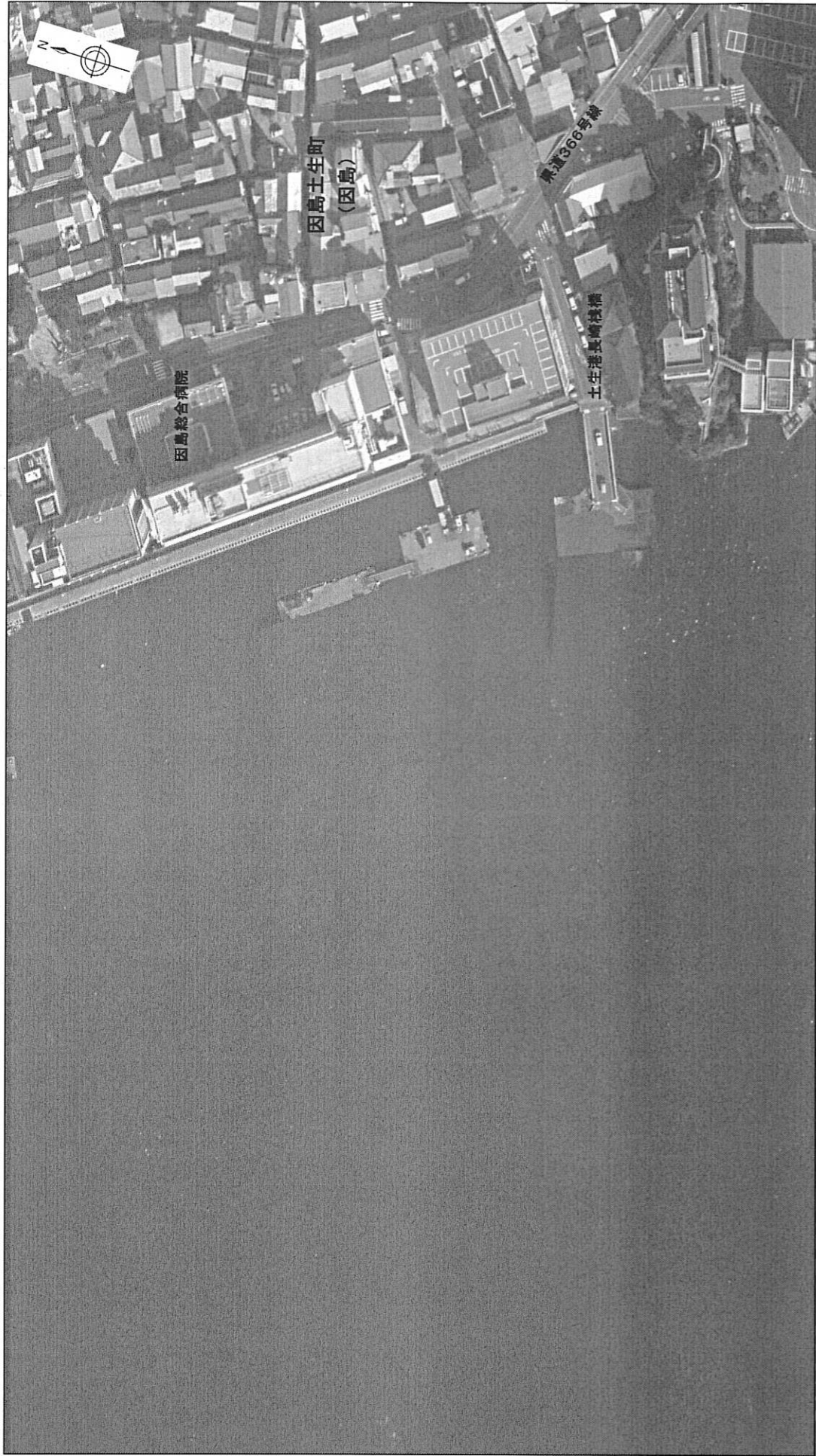
図郭番号 13	調査区域区分 港湾単独	港湾名 土生港	河川名 —	地区名 土生地区(その1)	調査年月日 平成30年8月2日	縮尺 1/1,180	プロット番号 221	通し番号 3/5
------------	----------------	------------	----------	------------------	--------------------	---------------	---------------	-------------



位置図

資料 8

図郭番号 13	調査区域区分 港湾単独	港湾名 土生港	河川名 —	地区名 土生地区(その2)	調査年月日 平成30年8月2日	縮尺 1/1,180	プロット番号 221	通し番号 1/5
------------	----------------	------------	----------	------------------	--------------------	---------------	---------------	-------------



位置図

資料 8

図郭番号 13	調査区域区分 港湾単独	港湾名 土生港	河川名 —	地区名 土生地区(その2)	調査年月日 平成30年8月2日	縮尺 1/1,180	プロット番号 221	通し番号 2/5
------------	----------------	------------	----------	------------------	--------------------	---------------	---------------	-------------



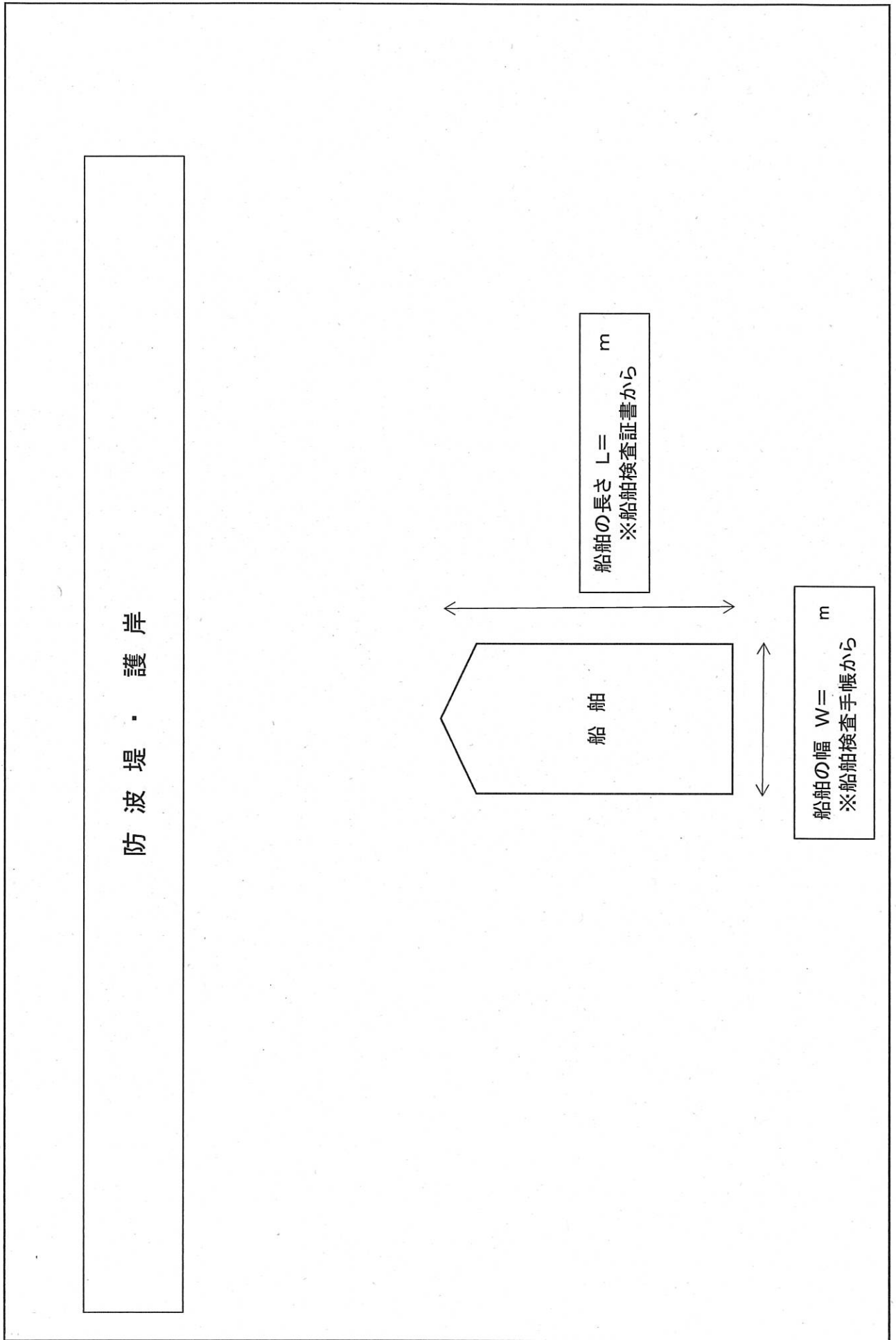
位置図 《記載例》

資料9

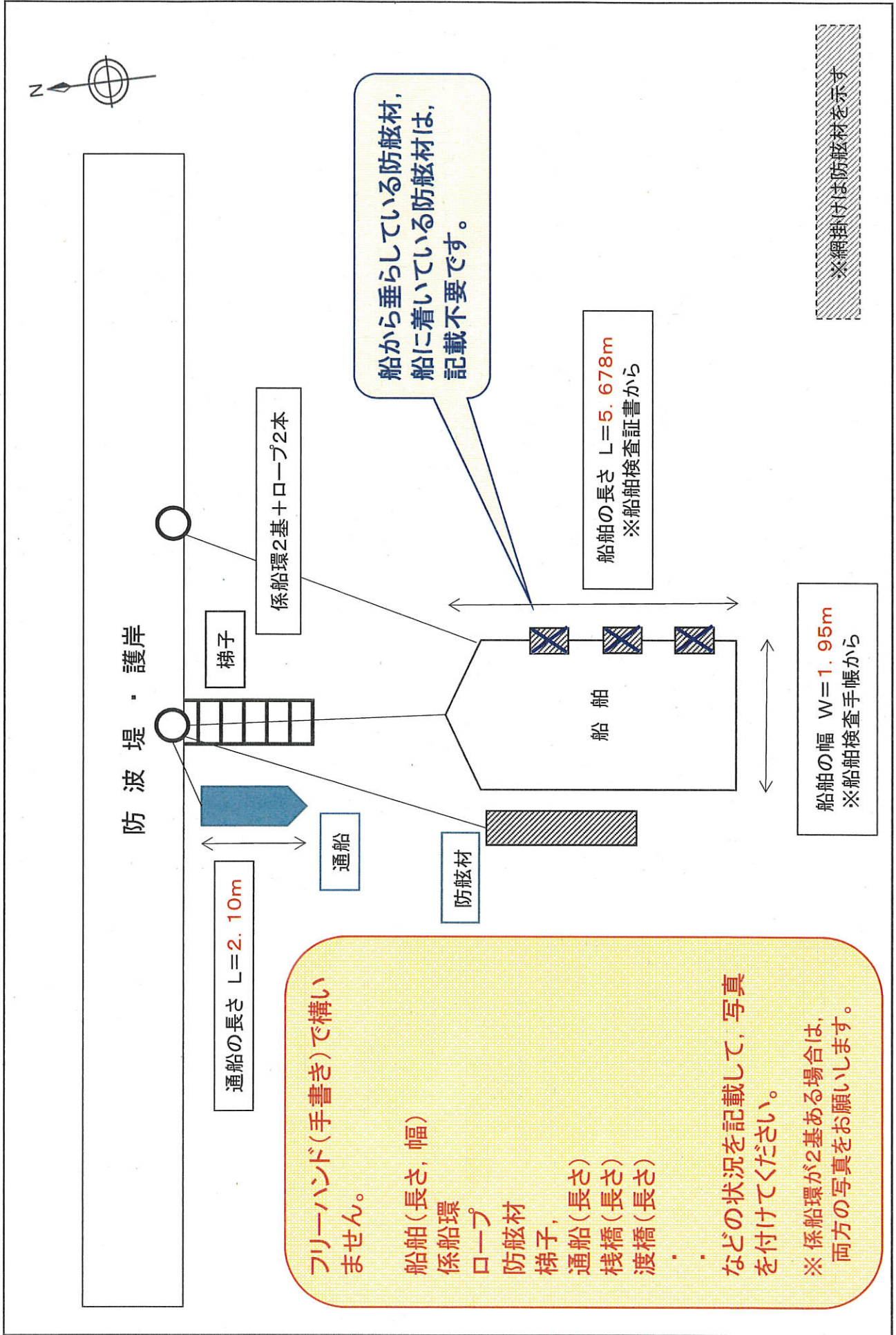
図郭番号	調査区域区分	港湾名	河川名	地区名	調査年月日	縮尺	プロット番号	通し番号
13	港湾単独	土生港	—	宇和部地区	平成30年8月1日	1/1,210	222	4/5 5/5



見取り図



見取り図 (記載例)



フリーハンド(手書き)で構いません。

船舶(長さ, 幅)
 係船環
 ロープ
 防舷材
 梯子
 通航(長さ)
 棧橋(長さ)
 渡橋(長さ)

などの状況を記載して、写真を付けてください。

※ 係船環が2基ある場合は、両方の写真をお願いします。

船舶の幅 $W = 1.95m$
 ※船舶検査手帳から

船舶の長さ $L = 5.678m$
 ※船舶検査証書から

船から垂らしている防舷材,
 船に着いている防舷材は,
 記載不要です。

※網掛けは防舷材を示す



誓 約 書

令和 年 月 日

広島県東部建設事務所長 様

住所

氏名

生年月日 年 月 日生

私は、広島県暴力団排除条例（平成 22 年広島県条例第 37 号）第 2 条第 3 号に規定する暴力団員等に該当しないこと及び今後も暴力団員等に該当することはないことを誓約します。

(記載例)

誓 約 書

令和4年 ○月 ○日

広島県東部建設事務所長 様

住所 広島県尾道市因島□□町 ○○番地

氏名 因島 太郎

生年月日 昭和○○年○○月○○日生

私は、広島県暴力団排除条例（平成22年広島県条例第37号）第2条第3号に規定する暴力団員等に該当しないこと及び今後も暴力団員等に該当することはないことを誓約します。

(記載例)

誓 約 書

令和4年 ○月 ○日

広島県東部建設事務所長 様

所在地 広島県尾道市因島口町 ○○番地

商号又は名称 株式会社 ○○産業

代表者氏名 代表取締役 因島 太郎

当社役員及び社員は、広島県暴力団排除条例（平成22年広島県条例第37号）第2条第3号に規定する暴力団員等に該当しないこと及び今後も暴力団員等に該当することはないことを誓約します。

写真（撮影例）

※係船環×3基，ロープ×4本，防舷材×1基（船から垂らしている小さい防舷材は除く）

